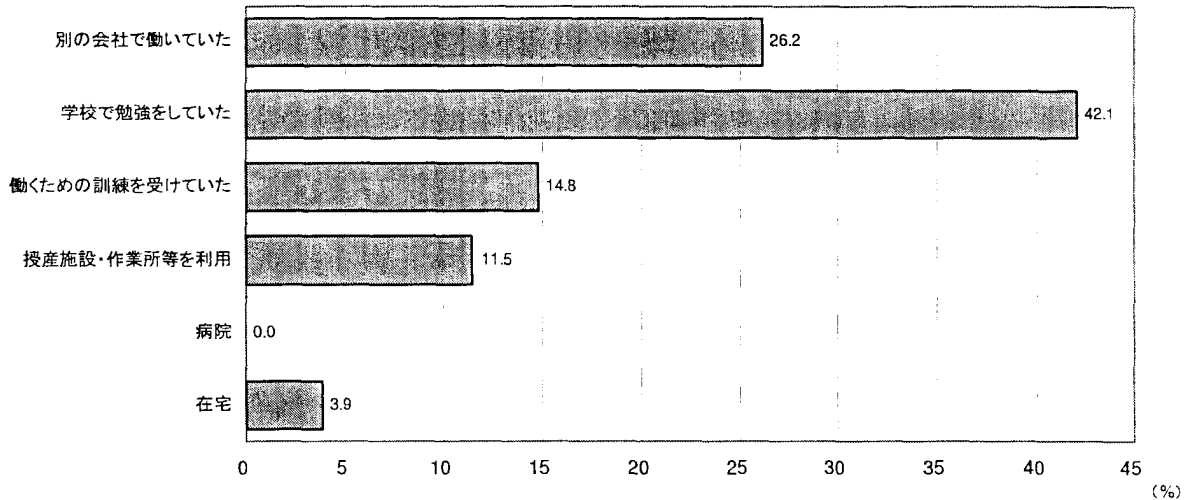


## 2 知的障害者

### (1)現在の会社に勤める前の状況等

現在の会社に勤める前の状況として、最も割合が高いのは「学校で勉強をしていた」で42.1%、次いで「別の会社で働いていた」が26.2%となっている。(図29)

図29 今の会社に勤める前の状況



### (2)主な相談相手

就職に際して相談した相手として、「学校の先生」が最も多く30.0%、次いで「家族、親戚」が27.5%、「公共職業安定所の職員」が14.7%となっている。(図30)

また、職場で困ったときの相談相手として、「職場の上司」が最も多く30.5%、次いで「職場でいっしょに働く人」が26.8%、「家族、親戚」が16.3%となっている。(図31)

図30 就職に際し相談した相手

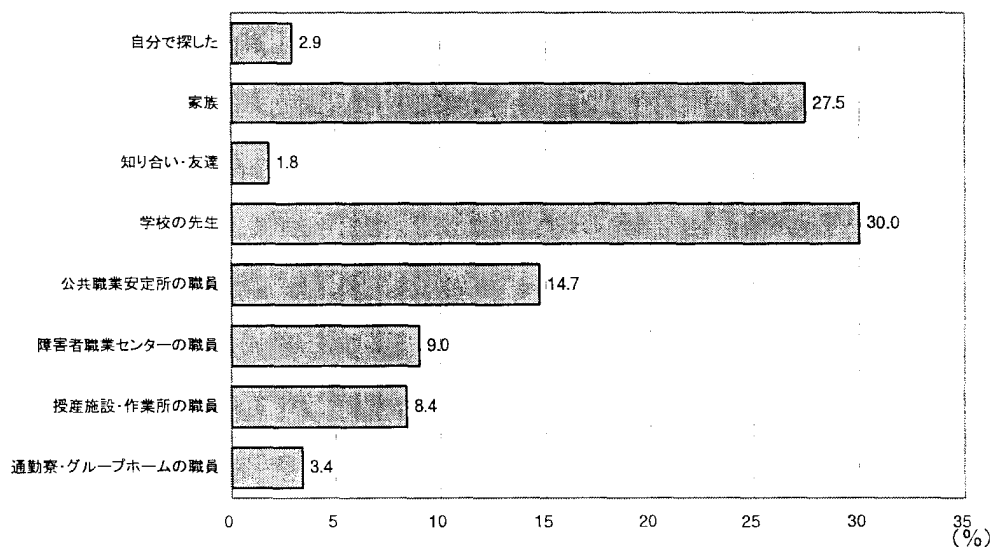
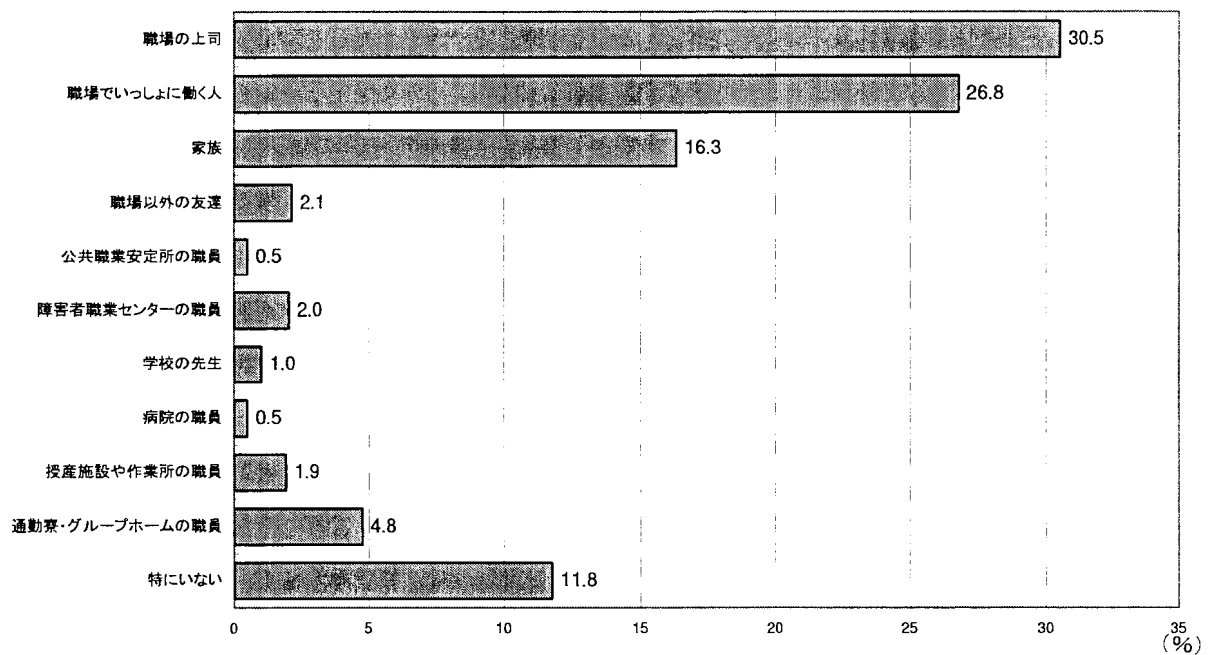


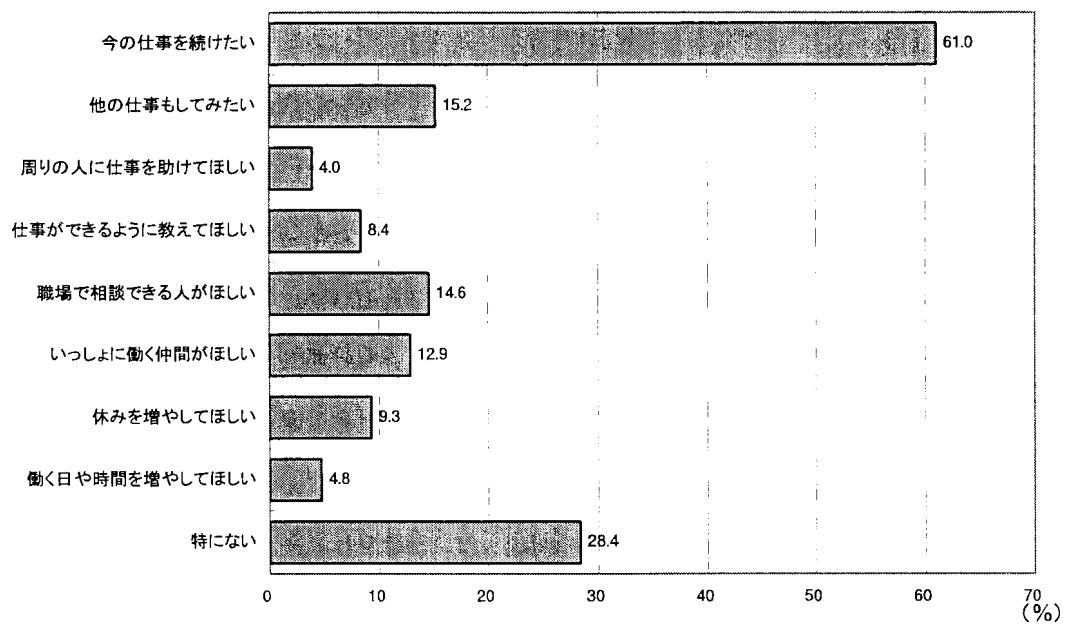
図31 職場で困ったときの相談相手



### (3) 職場への要望

今の職場での要望事項として、「今の仕事が続けたい」とするものが61.0%と最も多く、次いで「他の仕事もしてみたい」が15.2%、「職場で相談できる人がほしい」が14.6%となっている。(図32)

図32 職場への要望(複数回答:2つまで)

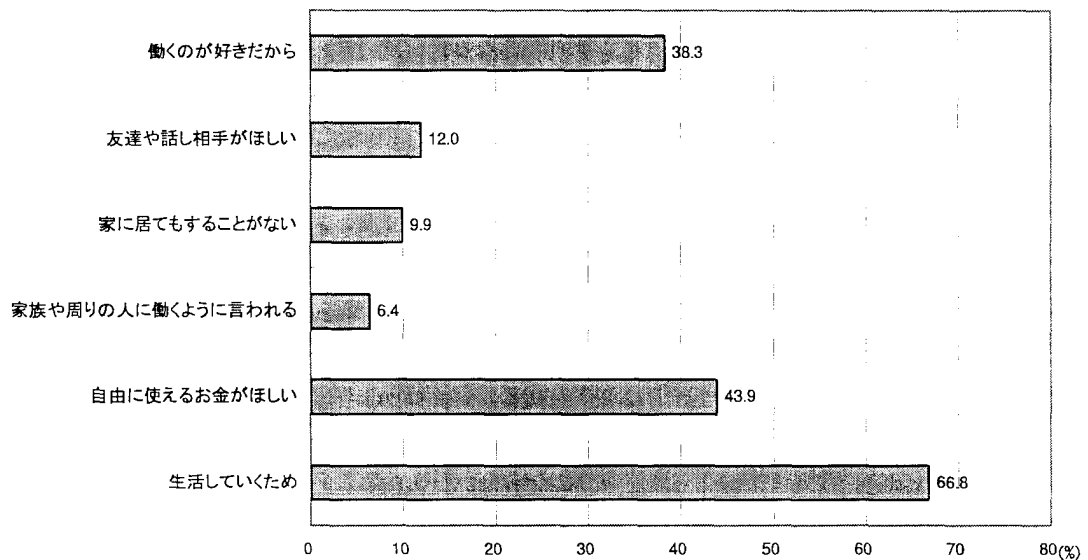


#### (4) 仕事をする理由

仕事をする理由として、「生活していくため」が66.8%で最も多く、次いで「自由に使えるお金がほしい」が43.9%、「働くのが好きだから」が38.3%となっている。

(図33)

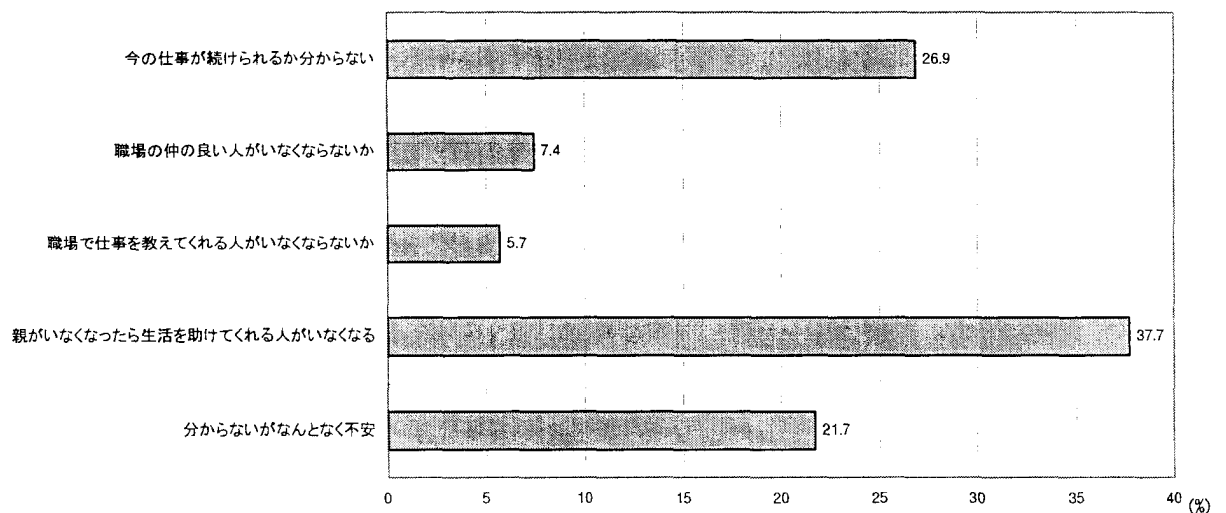
図33 仕事をする理由(複数回答:2つまで)



#### (5) 将来に対する不安

将来に対する不安については、「ある」としたものが53.2%となっている。不安があるとしている理由として、「親がいなくなったら生活を助けてくれる人がいなくなる」とした人が最も多く37.7%、次いで「今の仕事が続けられるか分からない」が26.9%、「分からないがなんとなく不安」が21.7%となっている。(図34)

図34 将来に対する不安



### 3 精神障害者

#### (1) 職場における障害への配慮

職場において障害に配慮した援助を受けている者は、61.7%である。配慮を受けている事項については、「業務遂行の援助や本人、周囲に助言する者等の配置」と「通院時間の確保、服薬管理など医療上の配慮」が41.4%と多く、次いで「短時間勤務など労働時間の配慮」が34.5%、「配置転換など人事管理面についての配慮」が31.0%となっている。

(図35)

また、配慮を受けていない、配慮を希望しない理由として、「特に必要と感じないため」とした者が68.8%と最も多くなっている。(図36)

図35 受けている主な配慮(複数回答)

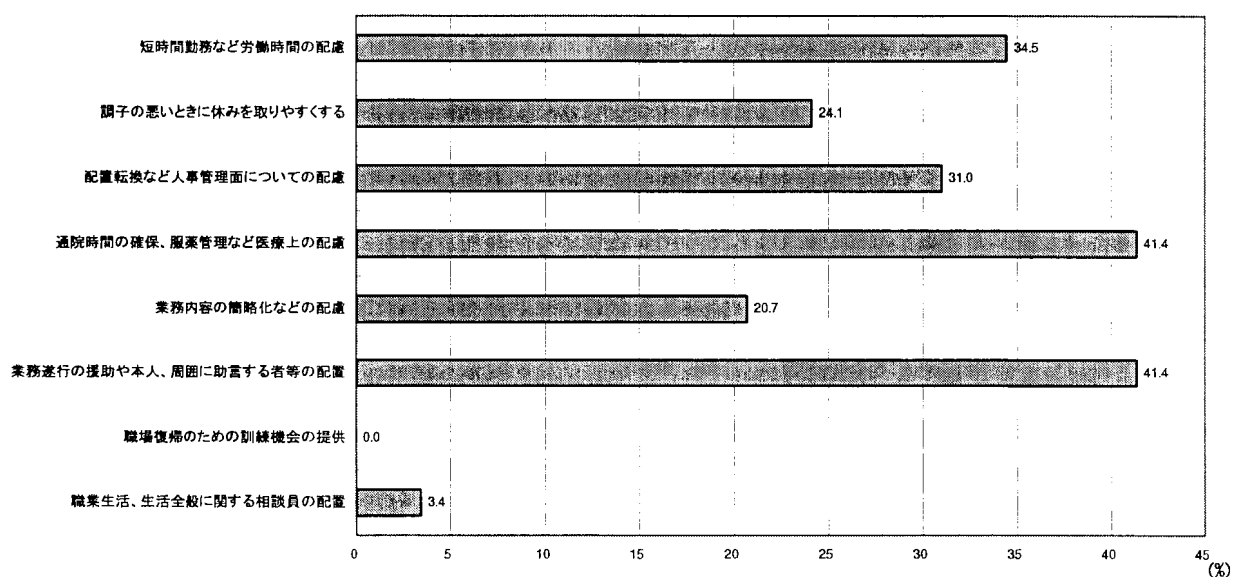
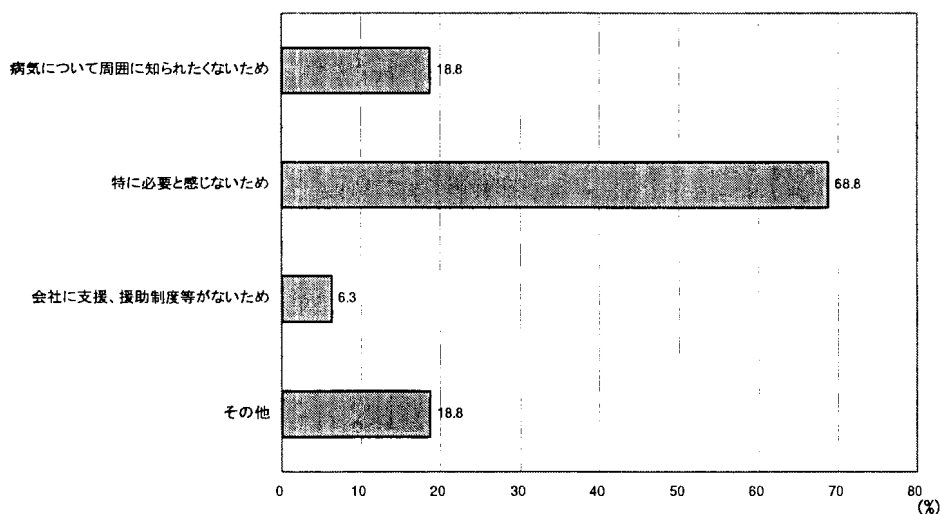


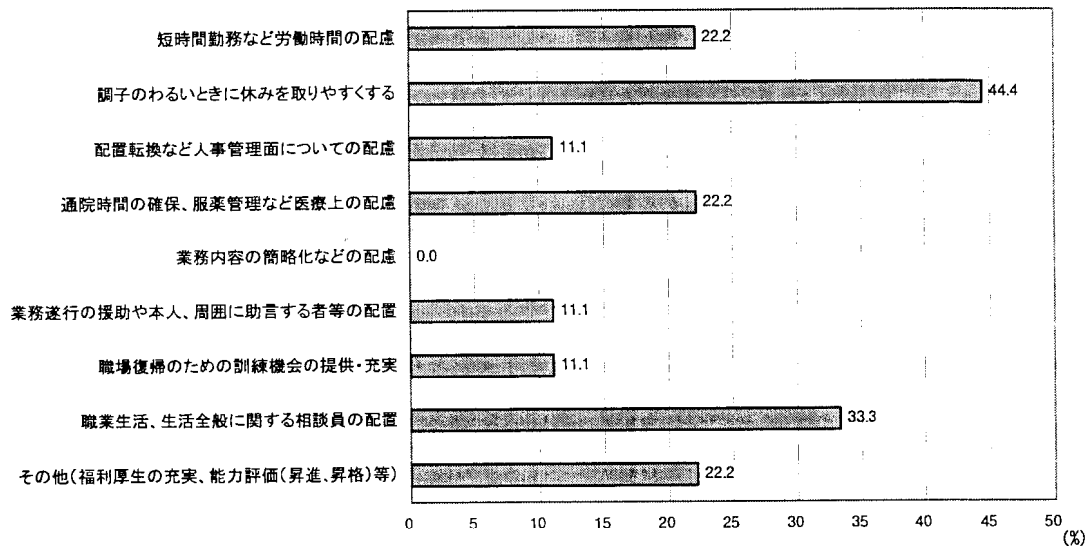
図36 配慮を受けていない、希望しない理由(複数回答)



## (2)改善等が必要な事項

仕事を続けていく上でさらに改善等が必要な事項としては、「調子のわるいときに休みをとりやすくする」が44.4%で最も多く、次いで「職業生活、生活全般に関する相談員の配置」が33.3%、「短時間勤務など労働時間の配慮」と「通院時間の確保、服薬管理などの医療上の配慮」が22.2%となっている。(図37)

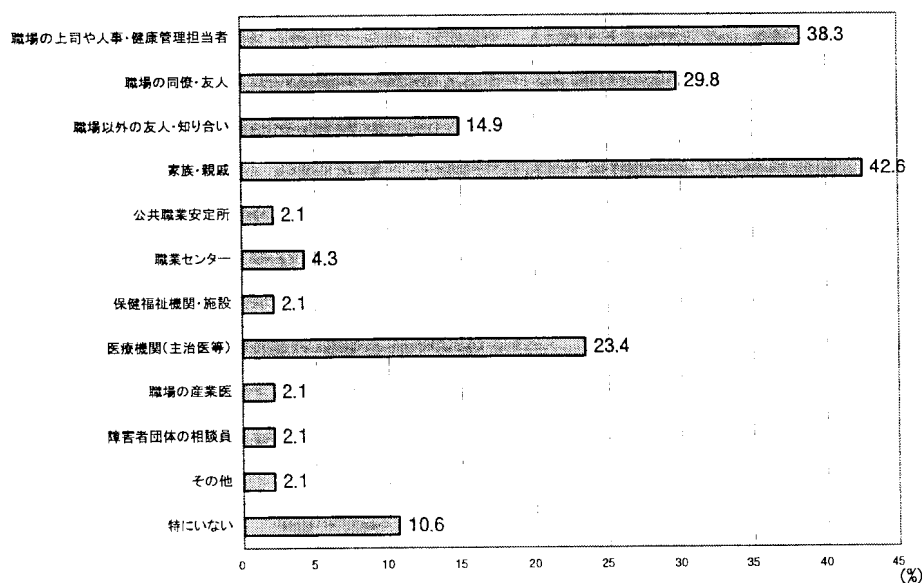
図37 改善等が必要な事項(複数回答:2つまで)



## (3)主な相談相手

主な相談相手として、「家族・親戚」が42.6%と最も多く、次いで「職場の上司や人事・健康管理担当者」が38.3%、「職場の同僚・友人」が29.8%となっている。(図38)

図38 主な相談相手(複数回答:2つまで)



#### (4)将来の不安について

将来の不安について、「仕事を続けられるかどうか」が72.4%と最も多く、次いで「老後の生活維持」が55.2%、「生活の援助者がいなくなる」が48.3%となっている。

(図39)

図39 将来の不安事項(複数回答)

